

万年山相国承天禅寺は今出川の北にあり、五山の第二にして、開基は夢窓国師、二世は妙葩、後小松院の御宇明徳三年、足利三代の將軍義満公の建立なり。仏殿には釈迦仏を安置し、迦葉阿難を左右にし、達磨大元の像を脇壇に安置す、祖師堂には夢窓国師の像あり、後水尾院の御再建にして同帝の神牌を安置す、三重塔は大日如来を本尊としこれも後水尾院の御再建なり、山門を円通閣といひ、池を功德池と号し、橋を天界橋となん名づけける、庫裏の傍には毘沙門天を安す。「靈験いちじるしくて常に詣人多し」塔頭普光院の竹林には黄門定家卿の墓あり。「墓前に石灯笼一基あり、銘に曰貞亨三年臘月右中將為経卿建之とあり」

法然水は塔頭松嶋軒にあり。「此地はじめは加茂の神宮寺にして百万遍の旧地なり、法然上人こゝに住給ふゆへに名とす」